

# 2/9 代表質疑しました ダイバーシティの視点について

ダイバーシティのあらゆる施策への反映と創設するダイバーシティ推進課の業務について聞き、多様な立場や価値観を持つ方々の交流が、都市の新たな活力創出につながるよう、全てのひとが個性と能力を発揮できるダイバーシティまちづくりを進めていくことが重要である。ダイバーシティ推進課では推進会議の事務局や、関連部署との連携の下、誰もが尊重され、持てる力を十分に発揮して活躍できるダイバーシティの視点を織り込んだ各般の施策を推進すると答弁でした。

## 子育てが楽しいまち・仙台の実現に向けての施策

希望する方が安心して子どもを産み育てられるまちづくりという観点で、多様な家族を認めあう取り組みが必要に変わらね、家庭の経済状態や家族の形態にかかわらず、子どもの幸せが最優先に考えられ、その健やかな成長を支える社会をつくっていくことが重要であると認識している。新年度でも産後ケアの低所得世帯に係る自己負担額の無料化、課題を抱える家庭の子どもを対象としたサードプレイス事業など、新たな施策を進めることとしてると答弁しました。

若い世代が将来にわたって安定した経済基盤を持てることも肝心で、賃上げなど企業への取り組み等具体的な施策が必要と質し、ライフステージが変化する中であっても働き続けられる環境の整備や、賃上げなどによる適切な所得水準の確保が重要と考えている。多様な働き方ができる職場環境の整備や、賃上げの原

資となる収益力の向上に取り組む企業への支援など、様々な施策を総合的に実施することにより、若い世代が安定的に経済基盤を確保できるよう取り組みを進めていきたいと答えました。

## 「子育て支援金」は公的医療保険料に上乗せするとする国に物申すべき

「子ども・子育て支援金」について、国は財源確保のため公的医療保険料に上乗せするとして、国が一方的な制度化は地方分権の趣旨に反する。さらに医療保険の給付に充てられることを目的として徴収された保険料を、少子化対策という別の用途に流用してしまうのは、正当性に欠ける。本市は国に物を申すべきと質し、他の目的に要する財源を保険料と併せて徴収する制度の創設にあたり、国において保険者等の意見を十分に踏まえるなど、慎重な対応が求められるものと認識している。国保保険者である本市としては、他の指定都市等と連携しながら、必要な意見について、国に対し申し述べていきたいと答えました。

## 市立学校の特別教室等クーラー整備

学校の空調整備について特別教室をはじめ子どもたちの居場所としてのステーションや学校図書室、給食調理室や配膳室についても求め、夏季における学習環境の改善を図るため、特別教室については、令和6年度に増改築または大規模改修の実施設計を行う学校からエアコンを整備し、増改築等の予定がない学校にはルームエアコンを3カ

年計画で整備する予定であり、図書室やステーションも含める。給食調理室は、増改築の際に整備を行っているほか、状況に応じてスポットクーラーの設置なども進めていると答えました。

## 能登半島地震の支援状況等について

能登半島地震における本市職員等の被災地での支援の状況や反響について聞き、避難所運営支援や罹災証明書関係業務をはじめ様々な分野での職員の派遣を行っている。「避難所運営経験のある仙台市職員の支援は大変心強い」との声があり誇らしく思っている。東日本大震災の折に全国から様々なご支援をいただいた本市として市民、事業者の皆様とも思いをつとめ、引き続き被災地の支援に取り組んでいきたいと述べました。

その他、温室効果ガス削減と森林環境税・森林環境贈与税について、「健康の都」実現について、地域公共交通を公共として支える観点、次世代放射光施設ナノテラスの活用とセキュリティ対策、中心部震災メモリアル施設整備と近隣施設や全国の関連施設との連携、4病院の再編、職員一人一人の能力発揮についても質疑しました。

安心・安全な避難所運営のために  
～多様な意見を取り入れた避難所運営のお願い～

この地域の地震による被害に、必ずお見舞い申し上げます。  
さて、避難所では、それぞれの事情を抱えた方が共に生活を行うこととなります。東日本大震災の際は、避難所での共同生活が長期にわたって続いたことにより、さまざまな問題が生じていました。

- 避難所の場所や広さ、入り口で決められる
- 避難所が狭く、暖かすぎたり暑すぎたりする可能性がある
- 避難所での生活が長期間にわたって続くため、入居しやすいように配慮をお願いします
- 避難所での生活が長期間にわたって続くため、入居しやすいように配慮をお願いします
- 避難所での生活が長期間にわたって続くため、入居しやすいように配慮をお願いします
- 避難所での生活が長期間にわたって続くため、入居しやすいように配慮をお願いします

でも、みんなが我慢しているからさもない...、こんな事態にならないために!

※能登半島地震支援に派遣された職員が持参した「安全安心な避難所運営のために」チラシ(抜粋)

# ひぐちのりこ 市議会ニュースレター あったかトーク

2024年 第48号 春号

ひぐちのりこ  
事務所  
(青葉区版)  
発行人  
樋口 典子  
1959年仙台市生まれ 管理栄養士 保育士  
立憲民主党仙台  
●市民教育常任委員会  
●子育て環境推進調査特別委員会  
●議会運営委員

## 「ひと中心のまちづくり」を世界に通用するステージへ 施政方針を表明

2024年第1回定例会は、2月9日開会、3月14日閉会の日程で開かれ、計78件の議案審議が行われました。

開会の冒頭で、都市長が新年度の施政方針を表明しました。来年度を本市が国内外から選ばれる都市となる絶好の機会としてとらえ「ダイバーシティ(多様性)の視点から町のあり様を見直し、誰もが自分らしく輝くことのできる環境を確立していく。人や投資を呼び込み、まち全体の活力へとつなげていくことが重要であり、持続可能で誰一人取り残さない「社会の包摂的成長」を、仙台から実現すると強調しました。

## 一般会計は過去最大を更新

2024年度の一般会計予算は総額約6,481億円で、過去最大規模となりました。新型コロナウイルス感染症が5類への移行を受けて、感染症対策費が2023年度の当初予算比で約100億円減になったものの、国の物価高騰対策における定額減税対応の歳出増となったものです。特別会計、企業会計を合わせると約1兆2,236億円でこれも過去最高で13年連続の1兆円超えとなりました。

## 子育て・教育環境充実

妊産婦検診費用・不妊治療助成、昨年11月に開設した「子ども財団」運営費、男性育休取得奨励金、保護者の就労に関わらず



子どもを保育所などに預けることができる「子ども誰でも通園制度」の施行、児童館遊戯室エアコン整備、小学校6年生までの35人以下学級の完成、民間フリースクールの通学被支援、新たな学生フリーパス制度の導入などが予算化されました。

## 脱炭素まちづくりへ

温室効果ガス排出量の削減目標に係る国の目標を考慮し、さらに削減を計画するためなどの仙台市環境基本計画の条例改正がおこなわれました。さらに介護保険制度の第1号被保険者の保険料

の引き上げの条例改正、国の地方公務員法改正に伴い会計年度任用職員の一時的に勤労手当を加えて支給することができるようにする職員の給与に関する条例の一部改正などが上程されました。また、人事案件では藤本副市長の再任、教育長の任命、人事委員会委員の選任などが行われました。

- 採択された意見書  
◆ライドシェア導入に対する慎重な議論を求める件
- 採択された決議  
◆バレスチナ自治区・ガザ地区における平和の早期実現を求める決議  
◆市立病院を含む4病院再編構想に関する件

## 市議会ひぐちコラム 現行の健康保険証の存続を!

政府は2024年中に現行の健康保険証を廃止し「マイナ保険証」として健康保険証をマイナンバーカードに一体化する法案を2023年6月2日に可決しました。しかし、マイナ保険証に関して、全国的に被保険者資格情報の誤登録や情報漏えい等のトラブルが起こり、保険資格が確認できず窓口で10割負担となった事案もあります。世論調査では健康保険証の廃止について延期や撤回を求める

声7割を超えています。マイナ保険証の利用率も昨年12月時点で約4.3%過ぎません。政府はマイナ保険証を持たない人向けに発行する資格確認書を発行するとしていますが、今の健康保険証と何が違うのか理解できません。誰もが安心して医療を受けられる国民皆保険制度を堅持するため、現行の健康保険証の廃止を拙速に行わずに現行の健康保険証の存続をすべきです。



今年1月の時点で「健康保険証の存続を求める意見書」などを採択した自治体は10を超えました。本市でも同様の意見書案を採択すべきであると私たちの会派も賛成し、議会最終日は賛成討論をしましたが、少数否決となりました。

ホームページ <http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>  
ひぐちのりこブログ <http://nohiguchi.jugem.jp/>  
X(旧twitter)アカウント名 #nohiguchi  
facebook ページ <http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>  
ひぐちのりこ事務所  
TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172

●味の素 山崎公園 ●七十七銀行 中江一  
石井屋 ●丸福精肉店  
二日町北四丁目 河北仙飯  
ひぐちのりこ事務所  
上杉山通小学校 ● 上杉山通小学校前

ひぐちのりこ事務所  
〒980-0011  
仙台市青葉区上杉3丁目9-31  
プリマヴェール社王101  
TEL.022-398-8171  
FAX.022-398-8172  
セブンイレブン側からお入り下さい。  
お気軽にお立寄り下さい!

# ひぐちのりこ 東奔西走!

## 1/17 会派市政運営要望、 予算要望回答

昨年10月12日に仙台市長に対して提出していた会派要望および2024年度予算要望の回答がありました。パートナーシップ宣誓制度の創設を急ぐことについては、令和6年度への導入に向けて検討を進めていきたい。多様性を尊重しあう社会づくりに向けて、理解促進の取り組みを推進していきたい。女川原発再稼働に当たっては、稼働永久停止・廃炉を東北電力(株)および宮城県に申し入れることについては、国及び県が総合的に判断していくべきものと考えているとの回答でした。



## 1/25~26 子育て環境充実調査 特別委員会視察

25日は茅ヶ崎市の社会福祉法人翔の会の保育園・児童発達支援センター「ラーたん(マレー語で森の意味)」の現地視察と保育、療育の実践について話を聞きました。26日午前は、横須賀市にある国立特別支援教育総合研究所の視察をしました。特別支援教育に関する総合的な研究や職員に対する専門的、技術的な研修などが行われています。宿泊施設もあり、全国の教育実践者を対象に長期にわたる研修も行われています。支援を必要とする児童生徒にとって授業などにも使える様々な教材などを見学しました。26日の午後からは、横須賀市療育相談センターについて担当者から話を聞きました。



## 1/27~28 フェミニスト議員連盟ウインターセミナー

埼玉県八潮市で行われたセミナーに参加しました。分科会「埼玉県のオーガニック給食推進と有機給食」では埼玉県の栄養教諭から給食に求められるもの話、学校給食をよくするためには「栄養教諭」が絶対必要。そのためには給食調理員と共に配置基準の向上が肝心と説きます。地場産品の使用について教育委員会、農業担当の行政セクションとJAなどとの連携、有機野菜農家とのやりとりやメリットについても話されました。安心安全の給食を安定的に提供すること、できることから地場産品を使い広げていくこと等、段階を踏むことの重要性が話されました。



## 市民教育常任委員会で質問

1/19 新規教員採用や研修にあたって、教員の勤務労働条件の周知と職員一人一人認識の状況について聞き、新規採用者に配布する「フレッシュ先生研修ガイドブック」に勤務条件等を掲載し周知しているところである。校内研修においても教員の服務内容や勤務時間、休息・休暇等の取得に関する研修を受けることとしているとの答弁でした。

外国につながる子どもの実態については、本市全体では小中学校でおよそ550人であり、支援が必要な児童生徒は120人程度となっている。仙台観光国際協会との情報共有や事業連携を行っているとの答弁でした。

国見小学校の教育の実践について聞き、校内に国際教室を設置し、専任の教員を配置して、対象児童の日本語指導、教科指導、保護者対応等を行っており、子どもたちが安心してできるようサポートしている。また、家庭環境や文化、習慣の違いにも配慮し、学用品の一部貸与や宗教食の提供もしていると答えました。



2/26 「仙台市健やかな体の育成プラン2024」最終案において、学期以前の就学前における保育所や幼稚園の計画、保育所等の食育計画等との連携について聞き、保育の関連する計画においても、子どもの発達にあわせて保育所等と情報共有を行うなど、関係部局とも連携を図りながら、児童生徒の健やかな体の育成に向けて取り組んでいきたいと答えました。さらに「いきいき市民健康プラン(第3期)」及び「食育推進計画」「スポーツ推進計画2022-2031」との関連については、計画における関連項目を参考とした。各計画の所管部署とも密接に連携をとり学齢期以後も健やかな生活を送れるよう、本プランの推進に努めていきたいと答えました。



# 皆さんの声を聴いて、市政へ!



## 3/4 決算等審査特別委員会で 3/4 道路管理等について質問

新年度予算の道路維持費の増額約5億7千万円について質し、区画線が薄くなった箇所や舗装が損傷した箇所を集中的に修繕するため、主に区役所の予算を増額したと答えました。個人での雪かきで自宅等の雪を道路に捨てる方へ

の啓発について、交通の妨げや事故を誘発するような道路への雪出しは控えるよう本市ホームページなどで啓発してきた。来シーズンに向けては、ホームページによる啓発内容を改善することに加え、市公式LINEなどによる啓発についても検討していきたいと答えました。



## 2/29 決算等審査特別委員会で 2/29 児童館・放課後児童クラブ、プレーパークについて質問



「児童館・児童クラブのあり方検討報告書」(中間案)パブリックコメントでは居室が狭いことや落ち着ける場所がないなどがあったがうけとめについて聞き、今後新たに整備する児童館、サテライト室から面積基準の拡大を目指すことや、静かに過ごす部屋、身体を動かす

部屋など分けて使用することで生活の場、遊び場としてより充実した環境をめざしていくと答えました。プレーパークを運営している団体からは、現行の公園使用料減免や必要経費などの継続が求められているが質し、プレーパーク活動は本市のめざす子どもの遊びの環境の充実資する公益的な事業であると考えている。次年度以降も継続して、運営を支援していきたいよう関係部局とも取り組んでいくとの答弁でした。



## ひぐちのりこ 主な活動日誌

1月4日	仙台市新春のつどい	2月2日	議会運営委員会、農業委員のみなさんと意見交換
1月6日	仙台市消防出初式	2月9日~	仙台市議会第1回定例会
1月7日	仙台市はたちの集い	3月14日	
1月9日	みやぎ生協メンバー(組合員)との懇談	2月10日	(仮称)国際センター駅北地区複合施設関連シンポジウム
1月10日	仙台・福島・山形市議会広域観光連携推進協議会研究会	2月12日	オーガニック学校給食フォーラム
1月13日	外国につながる子どもサポートせんだい公開研修会	2月20日	宮城県立病院統合等にかかる要請行動
1月16日	子育て環境充実調査特別委員会市内視察	3月9日	仙台市立第一中学校卒業式
1月17日	次世代放射光施設ナノテラス視察、予算要望回答	仙台防災未来フォーラム	
1月18日	フェミニスト議員連盟	3月19日	仙台市立国見小学校卒業式
1月24日	仙台市国民健康保険運営協議会	3月21日	子育て環境調査特別委員会 仙台こども財団設立式



ナノテラス視察の様子

## これからの主な予定

4月8日	仙台市立国見小学校入学式	4月16日	子育て環境調査特別委員会
4月9日	仙台市立第一中学校入学式	4月21日	市民教育常任委員会
4月11日~12日	自治体女性議員研修会	4月24日~25日	議会運営委員会視察
		5月23日	子育て環境調査特別委員会